

## リンゴわい性台木樹の現地調査を行いました

### 果樹試験場

本県は低樹高で早期成園化が可能な栽培技術として、リンゴ新わい化栽培を推進しています。現地では果樹産地経営支援対策事業により、新わい化栽培への改植が大規模に進められており、苗木の生産も進められています。

これまで順調に栽培面積が拡大してきましたが、この冬から春の寒さの影響か、県下各地で、M. 9 台苗木やM. 9 台木樹の生育不良・枯死が発生しました。その原因を明らかにするため松本農業改良普及センターとともに現地の被害実態調査を進めたところ、今春に定植した接ぎ木苗木の活着不良、フェザー苗養成を始める1年生苗木の発芽不良、昨秋に定植したフェザー苗木の枯死、結実が始まった若木の生育不良など様々な症状が認められました。

今後も実態把握を進めるとともに、症状ごとに整理して原因の究明や対策技術の開発を進めてまいります。



フェザー苗養成を始める  
1年生苗木の生育不良



秋植えしたフェザー苗木の枯死状況を確認

担当者	小松 宏光	電話番号	0 2 6 - 2 4 6 - 2 4 1 1
-----	-------	------	-------------------------

[試験場だより 442 号へ](#)

[果樹試験場ホームページへ](#)